

ウェイ モジュール キット
Weighing Module Kit

取扱説明書
Instruction Manual

LCZAP1413
LCZAP1414
LCZAP1415

AND

ご注意

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 当社では、本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

© 2014 株式会社 エー・アンド・デイ

株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行なうことはできません。

Note

- This manual is subject to change without notice at any time to improve the product. No part of this manual may be reproduced, transmitted, transcribed, or translated into any language without the prior written consent of A&D Company Ltd.
- Product specifications are subject to change without any obligation on the part of the manufacturer.

© 2014 A&D Company, Limited All rights reserved.

1. 概要

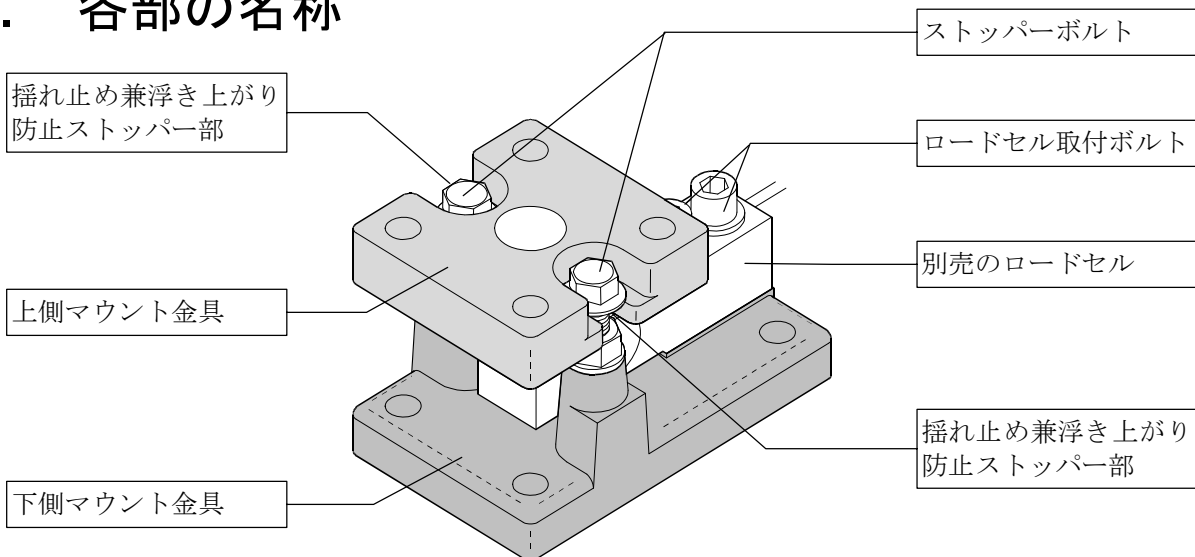
ウェイトモジュールキットは、振れ止め機能と浮き上がり防止機能を備えたビーム型ロードセル用ステンレス製マウント金具です。別売のLCM13、LCM19シリーズビーム型ロードセルと組み合わせる事により、自動調芯機能を備えたオールステンレス製圧縮型計量モジュールとなります。

ロードセルは精度や応答性に優れている分、設置する機器の構造や設置方法に配慮が必要となります。性能を十分に引き出すために本取扱説明書をご理解いただき、正しく設置してください。

2. 仕様

型式	LCZAP1413	LCZAP1414	LCZAP1415
許容過負荷	ロードセル定格容量の 150%		
許容水平力	6kN	12kN	20kN
許容浮上力	20kN	30kN	40kN
許容移動量	2mm (全方向)	2mm (全方向)	2mm (全方向)
自重 (ロードセルを含む)	4.4kg	7.5kg	14.5kg
適合ロードセル (定格容量)	LCM13K100 (1kN) LCM13K200 (2kN) LCM13K300 (3kN) LCM13K500 (5kN) LCM13T001 (10kN) LCM13T1.5 (15kN) LCM19K500 (5kN) LCM19T001 (10kN) LCM19T1.5 (15kN)	LCM13T002 (20kN) LCM13T003 (30kN) LCM19T002 (20kN)	LCM13T005 (50kN)

3. 各部の名称



4. 計量モジュールの組立手順

かじり付き防止のため少量のグリスを極薄く塗布する事をお奨めします。

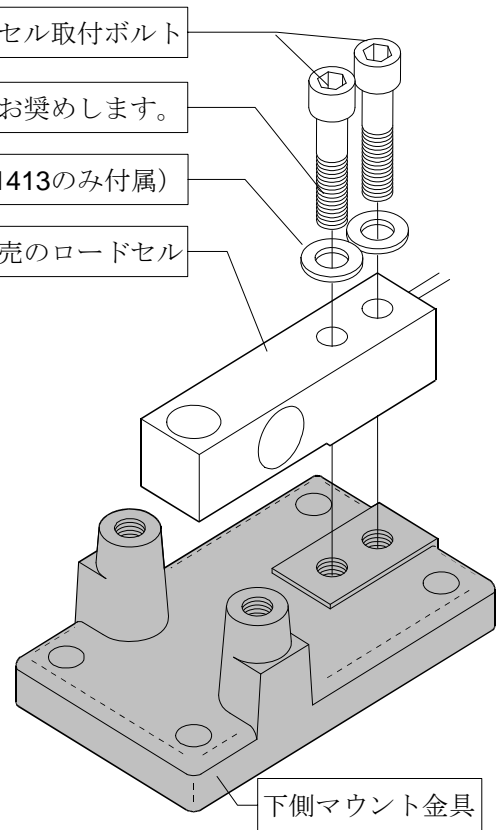
平ワッシャ (LCZAP1413のみ付属)

別売のロードセル

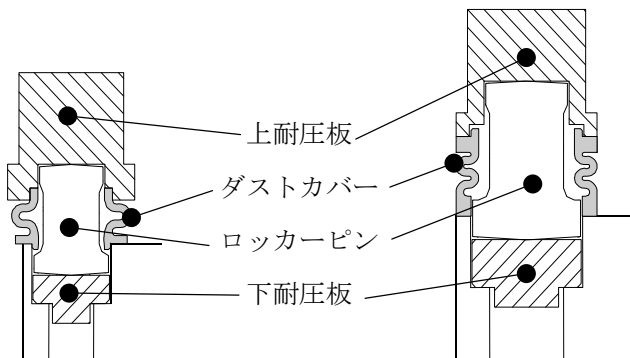
1. ロードセルを付属のロードセル取付ボルトを使って下側マウント金具に固定します。

ボルトの推奨締付けトルクは表の通りです。

型式	ボルト呼び	推奨締付けトルク
LCZAP1413	M12	80 Nm
LCZAP1414	M20	400 Nm
LCZAP1415		

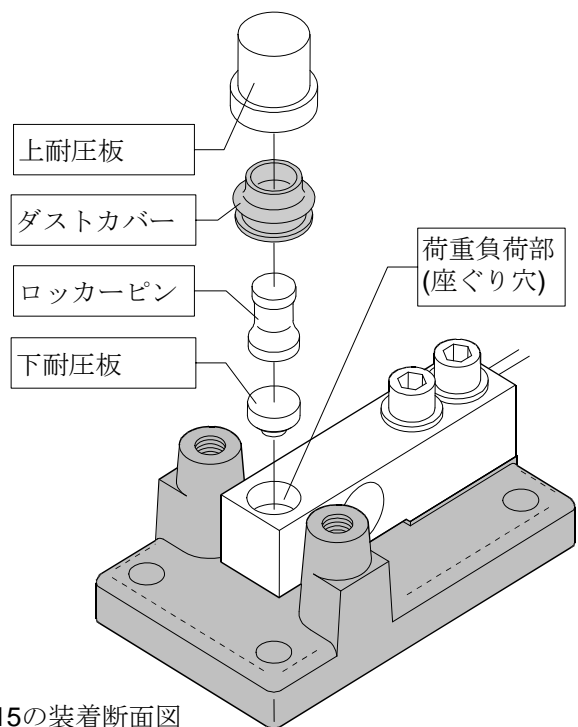


2. ロードセルの荷重負荷部(座ぐり穴)に下耐圧板を嵌め込み、その上からロッカーピン、ダストカバー、上耐圧板の順で各部品を取り付けます。



LCZAP1413の装着断面図

LCM13K100、LCM13K200
LCM13K300、LCM13K500
LCM13T001、LCM13T1.5
LCM19K500、LCM19T001
LCM19T1.5

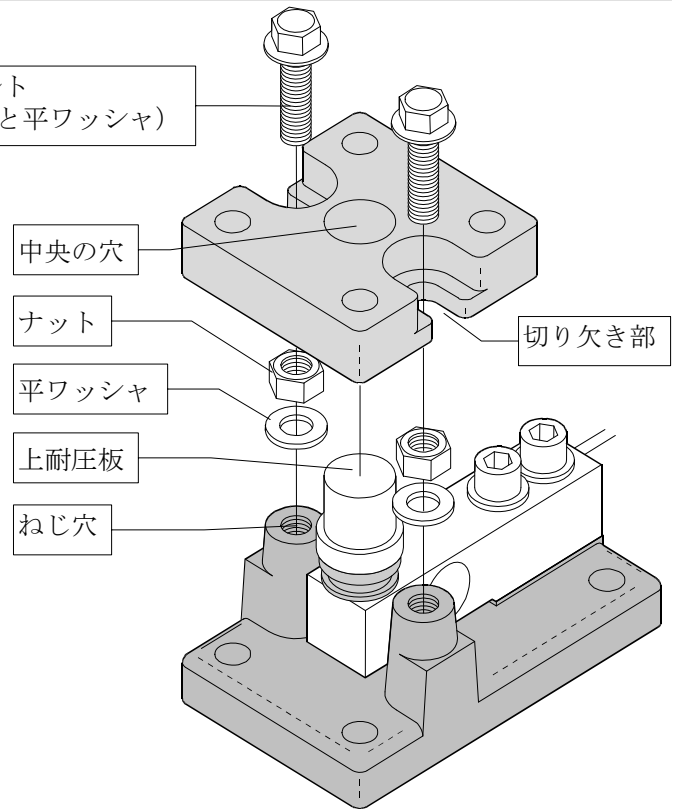


LCZAP1414、LCZAP1415の装着断面図

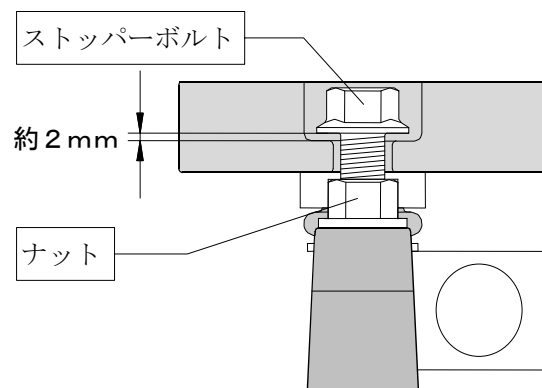
(LCM13T002、LCM13T003、LCM13T005、LCM19T002)

ストッパーボルト
(LCZAP1415は六角ボルトと平ワッシャ)

3. 上側マウント金具の中央の穴に上耐圧板を嵌め込みます。ストッパーボルトとナットで切り欠き部を挟み込むようにして、ストッパーボルトをねじ穴にねじ込みます。

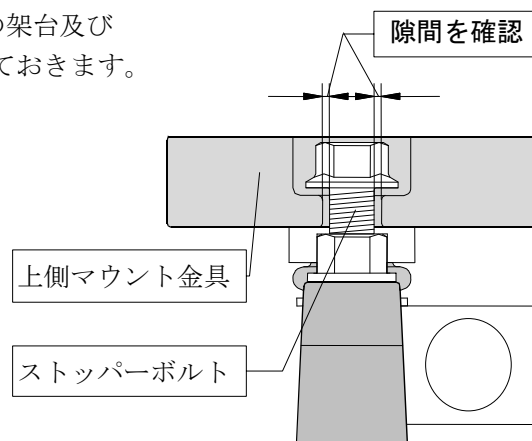


4. ストッパーボルトと上側マウント金具との間の隙間が約2mmとなるようにストッパーボルトの位置を調整し、ナットを締付け固定します。

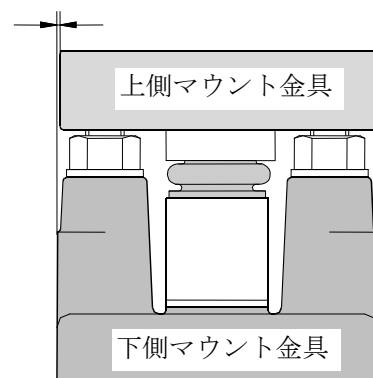


5. 設置手順

1. 下側マウント金具及び上側マウント金具を固定するための架台及びタンク等のブラケットの取り付け穴はあらかじめ加工しておきます。
2. 架台とタンク等のブラケットの間にジャッキを入れ、タンク等を持ち上げて計量モジュールを挿入します。
3. 架台、タンク等のブラケットと計量モジュールの位置を概ね合わせながらタンク等を少し降ろし、計量モジュールをボルトで仮止めします。
4. 一旦タンク等を降ろして、ストッパーボルトと上側マウント金具の間に隙間があることを確認します。ストッパーボルトと上側マウント金具が接触している場合はタンク等を少し持ち上げ、ストッパーボルトと上側マウント金具が接触しないよう下側マウント金具又は上側マウント金具の位置を微調整します。
5. ロードセル正面から見て、上側マウント金具と下側マウント金具の位置ズレが1 mm以内を確認します。位置ズレがある場合は、タンク等を少し持ち上げ、下側マウント金具又は上側マウント金具の位置微調整により位置を合わせます。この時、振れ止め兼浮き上り防止ストッパー部の隙間も確認しながら調整してください。
6. ストッパー部の隙間、上側マウント金具と下側マウント金具の位置が適正になったらジャッキを取り除き、ボルトを締め付けて計量モジュールを固定します。



位置ズレ 1 mm以内



6. 設置にあたっての注意

- ロードセルを取り付ける構造物の強度は、荷重に十分耐えられるように設計してください。
- ロードセルの基礎となる架台は、荷重を支える重要な箇所ですので、施工も入念に行ってください。
- ロードセルを屋外に設置する場合は直射日光が直接当たらないよう保護対策を施してください。
- 輻射熱、熱風等によりロードセルが高温となる恐れがある場合は熱に対する保護対策を施してください。
- ロードセルケーブルは突っ張らないようにたるみを持たせてください。また、破損しないよう電線管等により保護してください。なお、電線管の動力線との共用は避けてください。
- ロードセルに強い衝撃を与えないでください。
- ロードセルを装着したまま溶接作業を行う時は、溶接箇所の近くにアースを取るなどロードセルに電流が流れないように配慮をしてください。

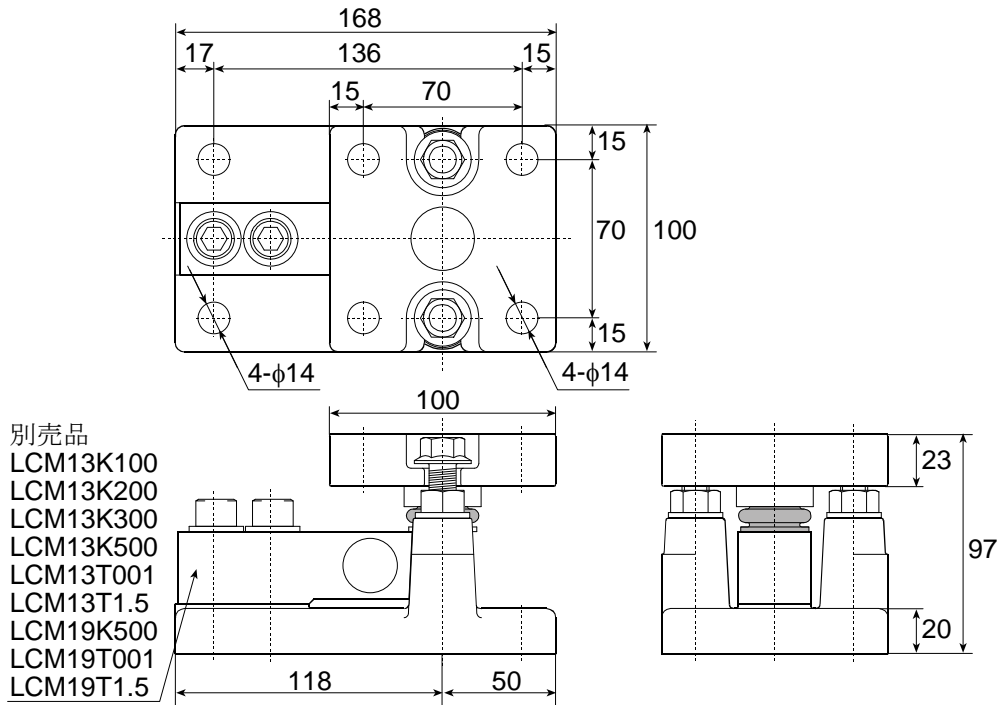
7. 日常点検

次の項目について適宜点検してください。

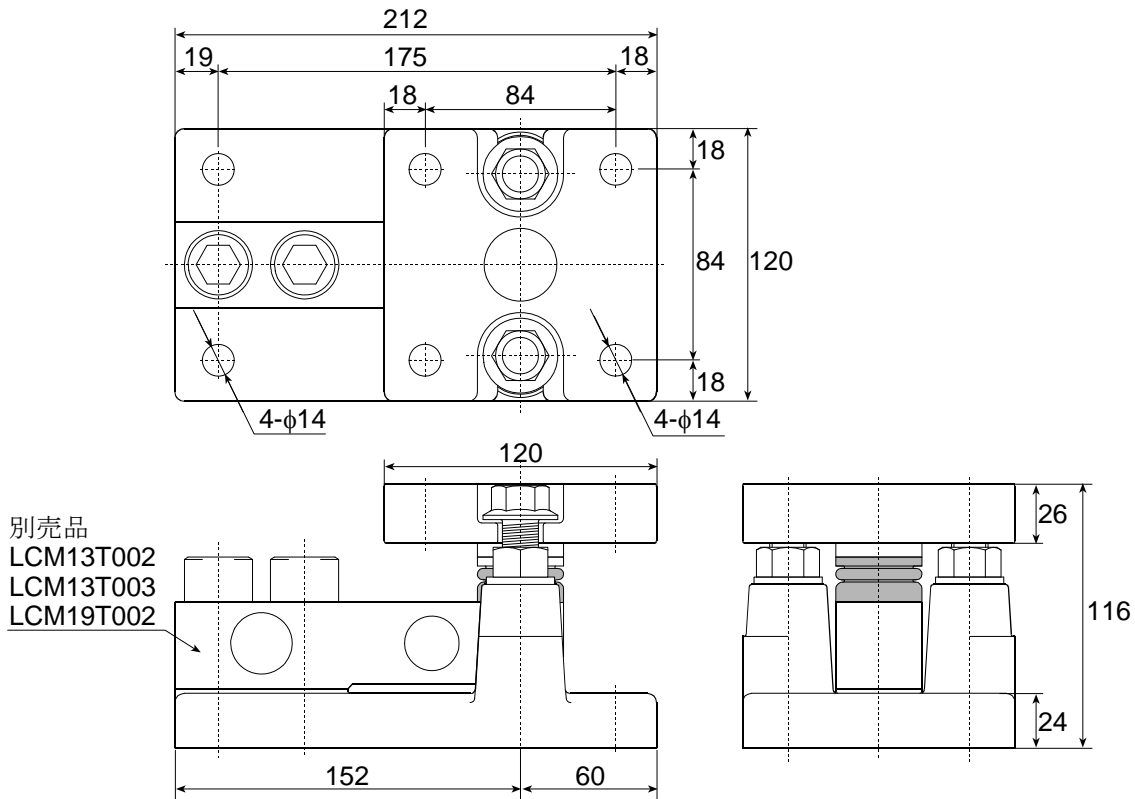
- ストッパー部の隙間は適正か？ ゴミ、異物などは詰まっていないか？
- ロードセル、マウント金具に付着物は無いか？
- 取り付けボルトに緩みはないか？
- ロードセルケーブルは突っ張っていないか？
- ケーブルの接続に緩みはないか？
- 漏電は無いか？

8. 外観図

LCZAP1413 (LCM13K100、LCM13K200、LCM13K300、LCM13K500
 LCM13T001、LCM13T1.5
 LCM19K500、LCM19T001、LCM19T1.5)

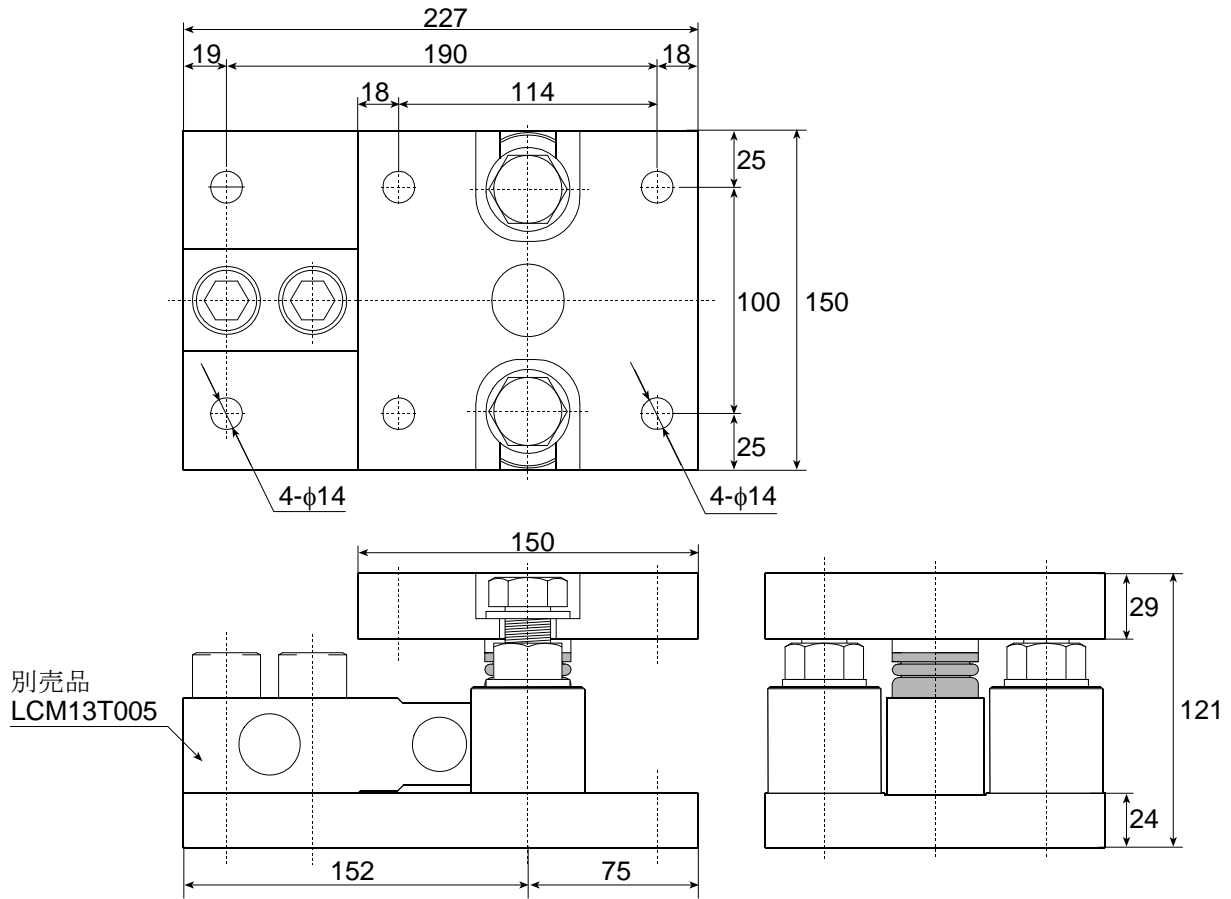


LCZAP1414 (LCM13T002、LCM13T003、LCM19T002)



単位 : mm

LCZAP1415 (LCM13T005)



単位 : mm